10 月 19-25 日

エレミヤ 45-46 章



21 番の歌と祈り | 開会の言葉（1 分）　滝 秀貞 | 水品 安章

神の言葉の宝

1. 将来について考えると，今も満足していられる（10 分）　吉田 忍

バルクは自分や自分のしたいことについて考え過ぎて，現状に満足できなくなったようだ。（エレ 45:3。塔研 25.07 22 ページ 8-9 節）

私たちも満足することを忘れると，喜べなくなり，良くない決定をしてしまうことがある。（塔研 25.07 20 ページ 2 節）

エホバはバルクに将来のことを伝えて，見方を正せるよう助けた。（エレ 45:5。塔研 25.07 24 ページ 13-14 節）

2. 宝石を探し出す（10 分）　梅原 直行

エレ 46:22『彼女は腹ばいで進む蛇のような音を立てる。 敵は大勢で彼女を追う。 おのを持って，木を切る(*木切れを集める)者たちのように。

エジプトが「腹ばいで進む蛇のような音を立てる」とは，どういうことだったか。（洞「声」17 節）比喩的な用法 バビロンの攻撃に面したエルサレムの住民の苦もんは，病気にかかった女の苦しみの声に例えられており，「シオンの娘の声」は，初めての子を産む女の声になぞらえられています。（エレ 4:31）エルサレムは敵によって非常に低い状態に陥れられるため，彼女が声を出して語るどんなことばも，塵の中にあるかのような卑しめられた位置から上がるもの，霊媒の低い声に似たものとなります。（イザ 29:4）神は預言者エレミヤを通して，エジプトがバビロニア人によって征服されることも預言されました。彼らは木を切る者として大勢で押し寄せ，エジプトを切り倒すのです。エジプトは地に横たわり，大いに辱められ，すすり泣き，うめくことになります。その「声」は，逃げてゆく蛇の出すシューという音のように低いものとなるのです。

今週の範囲からどんな宝石を見つけたか。

（46:26）バビロンにより滅ぼされられるエジプトが復興するとはいえ、参照聖句エゼ 29:14 には取るに足りない王国の復興であることを明らかにしている。やがて不毛の地となるバビロンの完全な滅びと対比して、聖書の預言が非常に正確であることを、ここからも説明できるかも。

3. 聖書朗読（4 分）エレ 46:13-24（教励 第 10 課）　下野 輝行 教励 10

伝道を楽しもう

4. 会話を始める　李雅楠 愛込 2-3 枝並 真菜

（3 分）日常生活の会話。うれしそうにしている人と会話を始める（愛込 レッスン 2 ポイント 3

5. 会話を始める　長谷川 裕美子 愛込 4-5 星 佳代

（2 分）家から家の伝道。家の人が怒っている。（愛込 レッスン 4 ポイント 5）

6. 会話を始める　小島 千晴 愛込 2-4 宮城 ひかる

（2 分）家から家の伝道。悲しそうにしている人が玄関に出てくる（愛込 レッスン 2 ポイント 4

7. 話　長谷川 貴史 教励 7

（4 分）愛込 付録 A ポイント 20 主題: イエスは神ではない。（教励 第 7 課）

クリスチャンとして生活する　117 番の歌

8.「持っている物を分け合う」（15 分）討議。　有田 悟

パウロは手紙の中で，分け合うことの大切さについてよく教えました。パウロのアドバイスは当時のクリスチャンにぴったりのタイミングで与えられましたし，今の私たちにも役立ちます。（エフェ 4:28 盗んでいる人は，もう盗んではなりません。きちんと仕事をし，一生懸命働いてください。そうすれば，生活に困っている人に物を分けてあげられるでしょう。テモ一 6:17，18 今の体制で裕福に暮らしている人たちに，高慢にならないように，そして不確かな富にではなく神に希望を抱くように教えてください。神は私たちが楽しむあらゆるものを豊かに与えてくださいます。 18 またその人たちに，善いことをし，立派な行いに励み，惜しみなく与え，進んで分け合うよう伝えてください。）ヘブライ 13:16 さらに，**善を行うことや，持っている物を分け合う**ことを忘れてはなりません。**神**は**そのような犠牲**を**とても喜んで**くださいます。を読む。パウロがこのアドバイスを与えてからしばらくして，ユダヤに住むクリスチャンは山に逃げなければいけなくなりました。そして，家や仕事や持ち物の多くを失いました。こういう状況では，兄弟姉妹は皆，持っている物を分け合わないと生きていけなくなったはずです。



・パウロのアドバイス通りにすることは，兄弟姉妹にとって，どうためになったと思いますか。⇒見返りを期待しない愛を示すことをエホバは祝福して、幸福になれる

・これから起きることについて考えると，私たちも今から分け合うようにすることが大切なのはどうしてですか。⇒愛を示すこうした良い習慣は今から身につけておかなければ、本当に大変な時に示せず、結局、愛を示す機会やエホバの恵みを失うことになる。

コリント第二 8:2-4 彼らは大きな**試練に遭って苦悩**する中，**非常に貧しい**にもかかわらず，喜びにあふれ，**気前よく与える精神を豊かに示**しました。 3 彼らは資力に応じて，というより，資力を超えて与えた，と私は言い切れます。 4 彼らは自分から，**親切に与える機会を下さい**と私たちに**懇願し続け**ました。聖なる人たちのための**救援奉仕に加わることを願**ったのです。を読む。（新世ス コリ二 8:2 の注釈マケドニアのクリスチャンたちは，**ローマ人にとって許されないと考えられている習慣のことで非難されていたのかも**しれない。（使徒 16:20，21）その試練は貧困に関連していたという見方もある。そうした**試練を経験していたことが理由**で，マケドニアの人たちは似た**困難に直面していたユダヤの兄弟たちに感情移入できたのかも**しれない。（使徒 17:5-9。テサ一 2:14）それで，**助けたいと思って「資力を超えて」喜んで与**えた。（コ二 8:3））

・マケドニアのクリスチャンからどんなことを学べますか。⇒必ずしも余裕のある人が気前よく与える人になれる訳でない。むしろ貧しく苦難に遭っている人がそうしてくれて、是非倣いたい

・物やお金以外にもどんなものを与えることができますか。⇒ｱｶﾞﾍﾟｰ愛に基づく慰めの気持/言葉

「エホバの友になろう しんせつにわけあう」の動画を再生する。次の質問をする。

・分け合うことについて，エホバからどんなことを学べますか⇒動物など創造物との接触制限無

9. 会衆の聖書研究（30 分）勇 13 章　長谷川 瑛一 ｜ 大谷 正

閉会の言葉（3 分）｜87 番の歌と祈り　田中 慶一

^（エレ 45:1-46:28） ユダの王，ヨシヤの子エホヤキムの治世の第 4 年に，ネリヤの子バルクが預言者エレミヤから聞いた言葉を巻物*に書き取った際，エレミヤがバルクに語り掛けた。 2 「バル